

エラーメッセージ

#ENDIF with no corresponding #IF

コンパイラは応答する#IFのない#ENDIFディレクティブを見つけました。

A #DEVICE required before this line

この行より前に#DEVICE が必要です。コードの生成を伴うようなステートメント又はコンパイラディレクティブがあらわれる前に、コンパイラは#deviceを必要とします。一般的に#defineは#deviceより前に有っては良くありません。

ADDRESSMOD function definition is incorrect

ADDRESSMOD 関数の定義が不正

ADDRESSMOD range is invalid

ADDRESSMOD 範囲が無効

A numeric expression must appear here

ここには式が必要です。ここには C 言語の式(123、A 又は B+C)が必要です。式は評価されて数値になります。

Arrays of bits are not permitted

配列には SHORT INT 型(bit 型)は使用できません。配列のレコードは次の要素にとられます。

Assignment invalid: value is READ ONLY

割り当てが無効: 値はリードオンリー

Attempt to create a pointer to a constant

定数のテーブルは関数で実現され、ポインタは関数内で作成されません。

例えば、char const msg[9]="Hi There";では&msgでの参照は行なえません。msgの参照はmsg[i]で行ない、printfやstrcpyでも同様です。

Attributes used may only be applied to a function (INLINE or SEPARATE)

関数の呼び出しには、#INLINEか#SEPARATEしか使用できません。

Bad ASM syntax

間違った構文:

これは一般的なエラーメッセージです。これはすべての不正な構文をカバーしています。

範囲外のボーレート:

コンパイラ、指定されたボーレート用のコードを作成できませんでした。内蔵 UART が使用されている場合はクロックおよび UART 機能の組み合わせは要求されたボーレート値の3%以内を取得できませんでした。UARTの組み込みが使用されていない場合はクロックは指示されたボーレートを許可しません。高速ボーレートを得るにはより高速なクロックが必要になります。ビット変数はここでは許可されていません。アドレスはビットに作成することはできません。例えば、XがSHORT INTであれば&Xは許可されません。

Bad expression syntax

式の文法が不正です。これは一般的なエラーメッセージです。全ての不正な文法に対して表示されます。

Baud rate out of range

指定されたボーレートでコンパイラは設定することができませんでした。内蔵の UART はクロックから作成されます。UARTは与えられたボーレートで3%以上の設定誤差を発生してしまっています。内蔵の UART を使用している場合は、クロックの値を変更してください。

また、高速なボーレートを設定するためには、高速なクロックが必要です。

Baud rate out of range

指定されたボーレートでコンパイラは設定することができませんでした。内蔵の UART はクロックから作成されます。UARTは与えられたボーレートで3%以上の設定誤差を発生してしまっています。内蔵の UART を使用している場合は、クロックの値を変更してください。

また、高速なボーレートを設定するためには、高速なクロックが必要です。

BIT variable not permitted here

bit 型の変数は使用できません。例えば、XがSHORT INT型で&X(Xのポインタ)は使えません。

Branch out of range

ここまでのコードにデバイス・タイプを変更出来ません。

#DEVICEはデバイス特有でありコードが生成された後に許可されていません。

#DEVICEをコードが生成される前のエリアに移動して下さい。

文字定数が間違っ生成されました。

一般的にこれは単一引用符内の文字数が多すぎるためです。例えば、¥ NR'であるとして'ab'エラーです。バックスラッシュは¥010'又は、¥n'のような単一の文字である場合に許可されています。

有効範囲外の定数:

定数が特定の範囲内になければいけません。これは通常インライン・アセンブリで発生します。例えば、2番目のオペランドは0-8でなければいけませんのでBTFSC3,9はこのエラーの原因となります。

Can not change device type this far into the code

#DEVICE でデバイスの指定を行なう場合、コード内部での設定は行なえません。2重に定義しない様にコードエリアから#DEVICEを外してください。

Character constant constructed incorrectly

基本的に多くのキャラクターはシングルクォート' 'で囲んで指定します。'ab'や'nr'はシングル・キャラクターでないのでエラーとなります。'n'や'010'はシングル・キャラクターです。

Constant out of the valid range

アセンブラコードにおいて定数の値が範囲を超えるか正しくありません。

例 1: btfsc 3,9 でセカンドオペランドの 9 はエラーで正しくは、0~7 です。

例 2: setup_timer_2() の場合、例として以下のように設定します。

```
setup_timer_2( T2_DIV_BY_4, 0xc0, 2 );
```

1 番目の引数:

T2_DISABLE : タイマー2 を使用しない

T2_DIV_BY_1 : プリスケール設定 1/1

T2_DIV_BY_4 : プリスケール設定 1/4

T2_DIV_BY_16 : プリスケール設定 1/16

から設定します。インクルードファイルで define されています

2 番目の引数:

period 値で、8bit で 0~255 までを設定します。リセット時は 0 が設定されています。

3 番目の引数:

postscale で、0~15 を設定します。0 を設定するとオーバーフローで割込がかかり、

1 を設定すると 2 回のオーバーフローでかかるようになります。

Could not run Program:No response from the ICD data buffer

通常、このメッセージは B3 ピンを用いる事によって発生します。デバッグは B3 ピンを用いて RS232 I/O を Monitor 画面上に表示するのに使われます。B3 ピンを使っていない場合は、Debug Configure Tab でユーザー・ストリームをディスプレイ側に設定する必要があり、この設定を行うことで本エラーメッセージは発生しなくなります。

尚、古いバージョンのソフトウェア(CCS の Cコンパイラ)では、この機能が使えませんが B3 ピンは常にハイに設定しておく必要があります。

Data item too big

データ項目が大き過ぎます。

Define expansion is too large

これらのエラーは、値の範囲がオーバーしています。0xffff を超える値や 255 文字以上の文字列を指定しています。

Define syntax error

#DEFINE での構文エラーです。()や;などに注意してください。

Demo period has expired

デモ版の有効期限が切れました。

Different levels of indirection

INLINE 宣言された関数のパラメータに変数を与えてパラメータを指定して呼び出しています。

定数で関数を呼び出してください。

Divide by zero

0(ゼロ)で除算しています。もしくは、式の評価が0となる除算を行なっています。

Duplicate case value

スイッチ文で 2 つのケースで同じ値を持っています。

Duplicate DEFAULT statements

DEFAULT 文が複数存在します。1 つの CASE 文には、DEFAULT 節は 1 つだけです。

Duplicate function

同じ関数が複数あります。関数のオーバーライドはサポートされていません。

Duplicate Interrupt Procedure

同じ割込関数があります。1 つの割込要素に対して記述できる関数は 1 つです。例えば、#INT_RB は各プログラム内で 1 度だけ現れます。

Duplicate USE

#USE ディレクティブで同じ指定が行われています。

Element is not a member

配列や構造体、共用体のメンバーが見当たりません。メンバー名を確認してください。

ELSE with no corresponding IF

End of file while within define definition

これらのエラーは、ファイルの終わりまで、対応する文が見つからないときに発生します。もう一度 {} や if else、()などの対応をチェックしてください。

End of file while within define definition

ソース・ファイルの終りが定義されいません。) をチェックして下さい。

End of source file reached without closing comment */ symbol

コメント記号*/に対応する*/がありません。タイプは INT と CHAR です。

定義構文でのエラー

Error text not in file

エラーを定義した"ERROR.TXT"ファイルが見つかりません。バージョン、ディレクトリー、パスなどを確認してください。

Expect ;

Expect }

Expect comma

Expect WHILE

Expecting *

Expecting :

Expecting <

Expecting =

Expecting >

Expecting a (

Expecting a, or)

Expecting a, or }

Expecting a .

Expecting a ; or ,

Expecting a ; or {

Expecting a close paren

Expecting a declaration

Expecting a structure/union

Expecting a variable

Expecting an =

Expecting a]

Expecting a }

Expecting an array

Expecting an identifier

Expecting function name

これらのエラーは全て対応する記号をチェックするか、配列、型などをチェックしてください。

また、インライン・アセンブラを記述している場合は、ニーモニックが正しいかどうかチェックして下さい。

Expecting an opcode mnemonic

これは MOVLW 又は、BTFSC の様な Microchip のニーモニックです。

Expecting LVALUE such as a variable name or * expression

定数に代入しようするなど式が期待した記述となっておりません。例えば、4=5 など

Expecting a basic type

関数呼び出しを期待していますが、異なった記述がされています。ベーシック・タイプは INT と CHAR です。

Expression must be a constant or simple variable

式は定数、又は、簡単な変数でなければいけません。

Expression must evaluate to a constant

表示された式がコンパイル時に定数に評価されなければいけません。

例えば、5*3+1 i は許可されますが、x が INT である 5*x+1 は許可されません。

X が定数値を持っている DEFINE であるなら、許可されます。

Expression too complex

コード生成で式や文が複雑過ぎてコード生成に失敗しています。単純な式や構文に書き直してください。

EXTERNAL symbol not found

外部シンボルが見つかりません。

EXTERNAL symbol type mis-match

外部シンボルのタイプがミスマッチ

Extra characters in preprocessor command line

プリプロセッサ・コマンド行に解析できないコマンドや文字列が書かれています。

例えば、

```
#PRAGMA DEVICE <PIC16C74> main(){intx; x=1;} など
```

プリプロセッサ行には 1 つのプリプロセッサ・コマンド書きます。

File cannot be opened

ファイル名とパスをチェックして下さい。ファイルが開けません。

File cannot be opened for write

オペレーティング・システムがコンパイラが出力ファイルの作成を許可しません。ファイルが読み取り専用になっていないか、そして、コンパイラがディレクトリーとファイルに書く優先のものがいないか確かめて下さい。

Filename must start with " or <

ファイル名の指定は、"か<で始まります。

```
#include "filename.ext"
```

```
#include <filename.ext>
```

#include の後に " 又は、< が見つからないエラー表示

Filename must terminate with " or >

ファイル名の指定は、" 又は、> で終わります。

Filename must terminate with " or;msg: "

#include のファイル名の指定は、もし、"で始まりまれば、"で終わります。<で始まりまれば>で終わります。

Floating point numbers not supported for this operation

浮動小数点演算、浮動小数点型が使用できないところに使っています。

例えば、インクリメント演算子に FLOAT 型を使用する(++F の F が float 型)など

Function definition different from previous definition

関数の定義が、プロトタイプ宣言の定義と異なった形で行なわれています。

Function used but not defined

示された関数はプロトタイプ宣言されています。プログラムでは定義できません。

Indetifier is already used in this scope

すでに同じ定義、名称が使用されています。

Illegal C character in input file

入力ファイルにおかしな文字が挿入されています。もう一度、ファイルをチェックしてください。(コントロール・コードや、全角文字など)

Improper use of a function identifier

関数名と同じ名称が使用されています。関数なら()が必要です。

Incorrectly constructed label

不適当なラベル名が使用されています。x=5+や MPLAB:はラベル名には使用できません。

Initialization if unions is not permitted

共用体を初期化して宣言することはできません。構造体にしてください。

Internal compiler limit reached

コンパイラの内部制限に引っかかっています。使用環境やソースファイルとともにご連絡下さい。対応がとれる場合もあります。

Internal Error - Contact CCS

コンパイラ内部のエラーです。ここにあるエラー以外のエラーが発生したり、ソースコードの解析に失敗しています。

ソースコード、コンパイラ環境とともにご連絡下さい。対応がとれる場合もあります。

Interrupt handler uses too much stack

インターラプト(割り込み)・ハンドラーによって多すぎるスタック位置が使用されています。

Invalid conversion from LONG INT to INT

LONG INT 型は、INT 型へ変換できません。強制的に行なわせるには型キャストしてください。

```
i=(int)(li); // iは int 型、li は long int 型
```

Invalid parameters to shift function

シフト関数のパラメータが不正です。関数のパラメータをチェックしてください。

Invalid Pre-Processor directive

プリプロセッサ・ディレクティブが不正です。または、未知のディレクティブです。

Invalid ORG range

ORG レンジが不正です。

Invalid type conversion

無効なタイプ変換

Library in USE not found

#USE ディレクティブに指定された内容はライブラリに存在しません。スペルなどチェックしてください。

Linker Error: "%s"が既に"%s" に定義されています。

Linker Error: 他のセクションとオーバーラップしていますので、モジュール“%s”のセクション“%s” をメモリに割り当てる事が出来ません。

Linker Error: シンボル“%s”のためのユニークな適が見つけられません。

Linker Error: ファイル“%s”を開くことが出来ません。

Linker Error: COFF ファイル“%s”が壊れています。; モジュールを再コンパイルして下さい。

Linker Error: モジュール“%s”のセクション“%s” をターゲットに再度割り当てるだけの十分なメモリがありません。

Linker Error: モジュール“%s”の内部に解決されない外部シンボル“%s” があります。

Linker Option no compatible with prior options

指定されたリンカー・オプションが矛盾しています。例えば、EXCEPT=と ONLY=オプションの両方を同じディレクティブで使用出来ません。

Linker Warning: モジュール“%s”のセクション“%s” が共有として宣言されていますが、ターゲット・チップに共有できるメモリがありません。共有フラッグは無視されます。

LVALUE required

構文から判断して変数が必要です。特に式の左辺値をチェックしてください。

Macro identifier requires parameters

#DEFINE で定義されたマクロのパラメータが必要です。

例: #define min(x,y) ((x<y)?x:y)のように定義された min マクロを呼び出すには
r=min(VALUE,6)とします。

Macro is defined recursively

C マクロはそれ自体を再帰呼び出しをおこなうような方法で定義されました。

Missing #ENDIF

呼応する #ENDIF なしで #IF が見つかった。

#endif が間違っているか、不要なところにあります。#if、#ifdef、#ifndef などの関係をチェックして下さい。

Missing or invalid .CRG file

ユーザー・レジストレーション・ファイルはアップデートの場合のダウンロード・ソフトウェアには含まれません。ソフトウェアを実行するにはこのレジストレーション・ファイルが .exe ファイルと同じディレクトリになければいけません。これらはオリジナルのディスク又は、CD-ROM にあります。

Must have a #USE DELAY before a #USE RS232

RS232 ライブラリを使用する前には、#use delay でクロック周波数の設定が必要です。

No MAIN() function found

ソースファイルにメイン関数がありません。プログラムには必ず 1 つのメイン関数が必要です。

Not valid assignment made to function pointer

有効な割り当てが関数ポインターにされていません。

Not enough RAM for all variables

全ての変数を扱えるRAM領域が不足しています。変数を減らしてください。

Alt-M でメモリマップを表示して確認するか、大きな関数を小さな関数に分解して記述して RAM を節約してください。ローカル変数を多用している場合は、いくつかの関数に分解して、ローカル変数を減らすと効果的です。

Number of bits is out of range

構造体でのメンバーに bit 型を指定する場合、1~8 を使用してビットを表しますが、#BIT ディレクティブでは 0~7 を使用します。

Out of ROM, A segment or the program is too large

プログラムが大きすぎて、チップの ROM 領域に収まりません。プログラムを小さくするか、より大きな ROM を持つデバイスに置き換えてください。また、INLINE で宣言されている関数を、SEPARATE で宣言し直すなどしてコードのサイズを小さくしてみてください。

Alt-T で関数のコールツリーを表示してみて、それぞれの関数に重複した箇所や呼び出しのオーバーヘッドを避けて関数を再構成してみる方法もあります。また、同じような動作をする部分を関数として独立させることもコードを節約できます。

Parameters not permitted

パラメータは許可されません。この関数又はプリプロセッサマクロは()内にパラメータを必要としません。

Pointers to bits are not permitted

Bit 型にはポインタは使用できません。

Pointers to functions are not valid

関数のアドレスは使用できません。

Previous identifier must be a pointer

構造体のメンバーのポインタによる参照は、構造体自身のポインタを宣言した後でしか使用できません。

Printf format type is invalid

printf 関数のフォーマットが不正です。%以降のフォーマット文字に知らない文字が使用されています。

Printf format (%) invalid

printf 関数のフォーマットが不正です。%と組み合わせる文字が不正です。

Printf variable count (%) does not match actual count

printf 関数の % で示された数と渡されるパラメータ数が一致しません。

Recursion not permitted

リンカーは、関数の再帰呼び出しをサポートしていません。再帰呼び出しと再帰的に呼び出されるようなルーチンを書き直してください。

Recursively defined structures not permitted

構造体の中に自身の構造体を入れることはできません。

Reference array are not permitted

配列の参照が不正です。

Return not allowed in void function

void 関数では Return 文は不必要です。関数が void の場合にはリターンするとき戻り値は不要です。

RTOS call only allowed inside task functions

RTOS コールはタスク関数のなかでのみ可能です。

Selected part does not have ICD debug capability

選択されたパーツは ICD デバッグ機能を持っていません。

STDOUT not defined(may be missing #RS232)

デフォルトの I/O ストリームが全く確立されていないとき、printf などの I/O 機能を使用することを試みました。#USE RS232 を加えて、入出力ストリームを定義してください。

Stream must be a constant in the valid range

fputc、fgetc のような I/O 機能は #USE RS232 で定義されたストリーム識別子を必要とします。この識別子は正確に定義された時に見えたように見えなければいけません。それが #define で再定義されていないかを確認してください。

String too long

文字列が長すぎます。255 文字以内としてください。

Structure field name required

構造体のフィールド名が必要です。

Structures and UNIONS can not be parameters (use * or &)

構造体や共用体へのアクセスが不正です。

Subscript out of range

RAM 配列は 128 バイトを超えています。バンクにまたがる RAM の配列は指定できません。ROM 配列が 256 エレメント以上にならない様にして下さい。

This linker function is not available in this compiler version

このコンパイラのバージョンではこのリンカー機能は利用出来ません。

This type can not be qualified with this qualifier

許されない型宣言を行なっています。

Too many array subscripts

配列の次元が高すぎます。配列は5次元までです。

Too many constant structures to fit into available space

定数が多すぎてスペース内に展開できません。コールツリー・リストを見てスペースを評価して下さい。

Too many elements in an ENUM

ENUM で使用できるのは最大 256 エレメントです。

Too many fast interrupt handlers have been identified

多すぎる最初の割り込みハンドラーが識別されました。

Too many nested #INCLUDEs

インクルード・ファイルのネストが複雑過ぎます。ネストを浅くしてください。

Too many parameters

関数に宣言されているパラメータが多すぎます。パラメータを減らすか、関数を分けてください。

Too many subscripts

宣言された配列の要素を超えています。

Type is not defined

型が定義されていません。ほとんどがスペルのミスか他のコンパイラの移植のミスです。

Type specification not valid for a function

不正な関数宣言です。宣言内容をチェックしてください。

Undefined label that was used in a GOTO

ラベルが定義なしか GOTO 文が不正です。

Unknown device type

未知のデバイス・タイプです。

Unknown keyword in #FUSES

#FUSE ディレクティブの要素に未知の要素が含まれています。キーワードを確認してください。

Unknown type

未知の型です。スペルをチェックしてください。

User aborted compilation

コンパイルがユーザーによって放棄されました。

USE parameter invalid

不正なパラメータが使用されています。パラメータをチェックしてください。

USE parameter value is out of range

パラメータの値が範囲を超えています。

Variable never used

変数が使用されていません。

Variable of this data type is never greater than this constant

このデータ・タイプの変数はこの定数より大きくてはいけません。

コンパイラ警告メッセージ

コンパイラの警告メッセージには次の様なものがあります。

Assignment inside relational expression(内部関係式に関わる警告)

if(a==b)を意図したときに f(a=b)のような一般的なエラーです。

この警告は行内に入カミスと同様の表示がされます。

Assignment to enum is not of the correct type(ENUM 変数の不正使用)

もし、変数が ENUM として宣言された場合、enum の変数としてのみ割り当てられるのがベストです。

```
例: enum colors {RED, GREEN, BLUE} color;
...
color = GREEN; // OK
color = 1; // 警告 209
color = (colors)1; //OK
```

Code has no effect(無効なコード)

コンパイラはこのソース・コードが生成されたコードが持ついかなる影響も識別することができません。

例:

```
1;
a==b;
1,2,3;
```

Condition always FALSE(常に FALSE となる条件)

関係式で決して FALSE とにならないとコンパイラが認識したエラー。例

```
int x;
if( x>>9 )
```

Condition always TRUE(常に TRUE となる条件)

関係式で決して TRUE とにならないとコンパイラが認識したエラー。例

```
#define PIN_A1 41
...
if( PIN_A1 )// 意図したのは: if( input(PIN_A1) )
```

Duplicate #define

#defineでその識別子が前の#defineで既に使用されています。再定義するには #UNDEFを最初に使って下さい。下記の様に重複定義を避けるために複数ソースからインクルードされるようにして下さい:

```
#ifndef ID
#define ID text
#endif
```

Feature not supported.

機能がサポートされていません。

Function never called.

関数がコールされていません。

Function not void and does not return a value.

関数が無効です。値が返されません。

void 関数であるにもかかわらず戻り値がない場合、戻り値として宣言された関数は戻るべき値を持ったリターン・ステートメントを持ってなければいけません。C の関数だけが戻り値の意図しない場合は void を宣言することを理解すべきです。もし、何の指定もされなければ戻り値は int 型とみなされます。

Interrupt level changed.

割り込みレベルが変更されました。

Interrupts disabled during call to prevent re-entrancy.

コール中の再エントリを避けるために割り込みが無効にされました。

リンカー警告:**Linker Warning: "%s" already defined in object "%s"; second definition ignored.**

オブジェクト "%s" で "%s" は既に定義されています。2度目の定義は無視されました。

Linker Warning: Address and size of section "%s" in module "%s" exceeds maximum range for this processor. The section will be ignored.

モジュール "%s" のセクション "%s" のアドレスとサイズがこのプロセッサの最大範囲を超えています。このセクションは無視されます。

Linker Warning: The module "%s" doesn't have a valid chip id. The module will be considered for the target chip "%s".

モジュール "%s" は有効なチップIDを持っていません。モジュールはターゲット・チップ "%s" のためのものと見なされます。

Linker Warning: The target chip "%s" of the imported module "%s" doesn't match the target chip "%s" of the source.

インポートされたモジュール "%s" のターゲット・チップ "%s" とソースのターゲット・チップ "%s" がマッチしません。

Linker Warning: Unsupported relocation type in module "%s".

モジュール "%s" にサポートされていないリロケーション・タイプがあります。

Memory not available at requested location.

要求された場所でメモリーを利用出来ません。

Operator precedence rules may not be as intended, use() to clarify

演算子の優先順位明示的に使用するために () を使用

式において複数の演算子による結合は、プログラマを惑わせることがあります。この警告メッセージは、式の意味を明示するようにどこに()を挿入するかを助ける為に出力されます。例

```
if( x << n + 1 )
```

これは次のように表した場合より一般的に理解されるでしょう。

```
if( x << (n + 1) )
```

Structure passed by value(値参照の構造体)

構造体は、いつも参照によって関数に引き渡される。この警告メッセージは構造体が値によってされた場合に現れる。構造体のサイズが5バイトに満たない場合は現れません。例

```
void myfunc( mystruct s1 ) // 値による引渡し - 警告
myfunc( s2 );
void myfunc( mystruct * s1 ) // 参照による引渡し- OK
myfunc( &s2 );
void myfunc( mystruct & s1 ) // 参照による引渡し- OK
myfunc( s2 )
```

Undefined identifier

指定された識別子が使用されようとしていますが、定義されていません。スペルをチェックして下さい。

Unprotected call in a #INT_GLOBAL

#INT_GLOBALとして定義された割り込み関数はアセンブリ言語か又は、非常に簡単なCコードです。このエラーは標準のメモリ・アロケーションに違反したリンカーの検出されたコードを示します。C関数が#INT_GLOBAL 割り込みハンドラーから呼ばれていることが原因です。

Unreachable code(実行されないコード)

プログラムに含まれたコードはけって実行されません。例:

```
if(n==5)
goto do5;
goto exit;
if(n==20) //この行にはいく方法はありません。
return;
```

Unsigned variable is never less than zero(Unsigned 変数は負の値をとりません。)

Unsigned 変数は決して負の値をとりません。この警告メッセージは、もし Unsigned 変数が負の値を取り得る場合にチェックを促しています。

例

```
int i;  
for(i=10; i>=0; i--)
```

Variable assignment never used.

変数割り当てが使用されていません。

Variable of this data type is never greater than this constant(変数の型によって、変数の取り得る値の範囲を超える定数が記述されています。)

変数が定数と照合されます。変数の最大値は定数より大きくならない場合

次の例ではけっして TRUE にならない。

```
int x; // 8 ビット, 0-255  
if ( x>300)
```

Variable never used(使用されない変数)

変数が宣言されていて、コード内で参照されていません。

Variable used before assignment is made.

割り当てされる前に変数が使用されました。